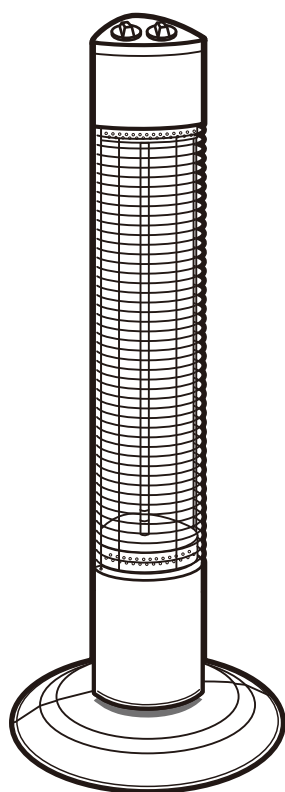


遠赤電気ストーブ

KKS-0977

取扱説明書

(保証書別途添付)



目 次

- 安全上のご注意 1～3
- 各部のなまえ 4
- 仕 様 4
- ご使用前の準備 5
- 正しい使いかた 5～6
- お手入れのしかた 6～7
- 収納のしかた 7
- 故障かな?と思われたときは 7
- アフターサービスについて 8
- お客様の個人情報のお取り扱いについて 9
- お客様相談窓口 9

このたびはコイズミ 遠赤電気ストーブをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、保証書は別途添付されています。お読みになられた後も、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

小泉成器株式会社

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

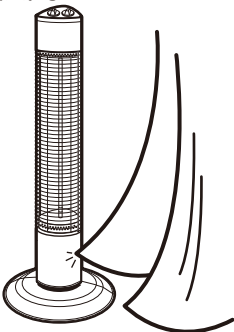
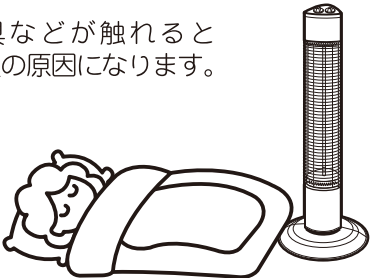
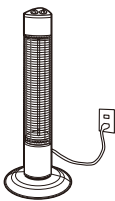
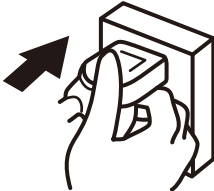
 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
 注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例

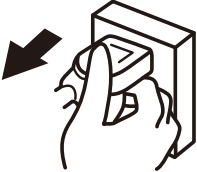
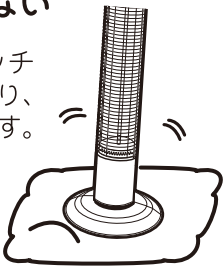
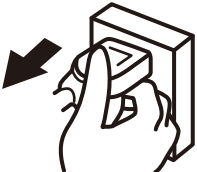
 は、してはいけない 「禁止」の内容です	 一般的な禁止  分解禁止  接触禁止
	 ぬれ手禁止  水ぬれ禁止  水場使用禁止
 は、必ず実行していただく 「強制」の内容です	 必ず行う  電源プラグを抜く

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警 告			
	●故障・異常時には、直ちに使用を中止する そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 ◆スイッチを入れても、時々通電しない時がある。 ◆電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ◆通電中に異常な音や振動がする。 ◆電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。 ◆こげくさい臭いがする。 ※すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ点検、修理を依頼してください。		●改造はしない修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。
	 ●スプレー缶等を本体の近くに置かない 爆発や火災の原因となります。		●吸排気口やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない 感電や異常動作してけがをすることがあります。

	●カーテン、ふとんなど燃えやすいものの近くで使用しない 火災のおそれがあります。 		●就寝中は使用しない 寝具などが触れると火災の原因になります。 
	●やけどのおそれあり 次のような方がお使いのときは特に注意してください。 乳幼児、自分で操作できない方。 皮ふ感覚の弱い方。		●そばを離れるときは、必ずスイッチツマミを「切」にする 火災の原因になります。
	●定格15A以上のコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。また、延長コードは使用しないでください。異常発熱したり、火災・感電の原因となります。 		●長時間同じ部位を暖めない 比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を暖めていると低温やけどのおそれがあります。
	●電源コードを傷つける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねて使用する・重いものを載せる・はさみ込む・電気ストーブ本体の下を通すなどしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。		●交流 100V 以外では使用しない 火災・感電の原因となります。 交流200V・船舶の電源・直流電源など 交流100V以外では使用しないでください。
	●電源コードを傷つける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねて使用する・重いものを載せる・はさみ込む・電気ストーブ本体の下を通すなどしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。		●電源プラグは清潔にする。 刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る ショート・火災の原因となります。
	●電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。 		●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電やけがをすることがあります。
	●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります		●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります

⚠ 注 意

	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電やショートして発火することがあります。 		●浴室や屋外で使用しない 感電やショート・発火の原因となります。
	●乾燥等他の用途に使用しない 過熱して発火することがあります。燃えやすいものの落下等にはご注意ください。		●毛足の長い敷物や座ぶとん等の上で使用しない 二重安全転倒スイッチの接触が不安定となり、火災の原因となります。 
	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。 		●使用中や使用後しばらくは高温部に触れない やけどの原因となります。
	●本体や操作部に水やお茶等をこぼさない 万一こぼれた時は、漏電や感電、過熱のおそれがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。		●お手入れは必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う 感電ややけどをすることがあります。

水ぬれに注意する

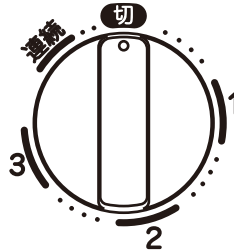
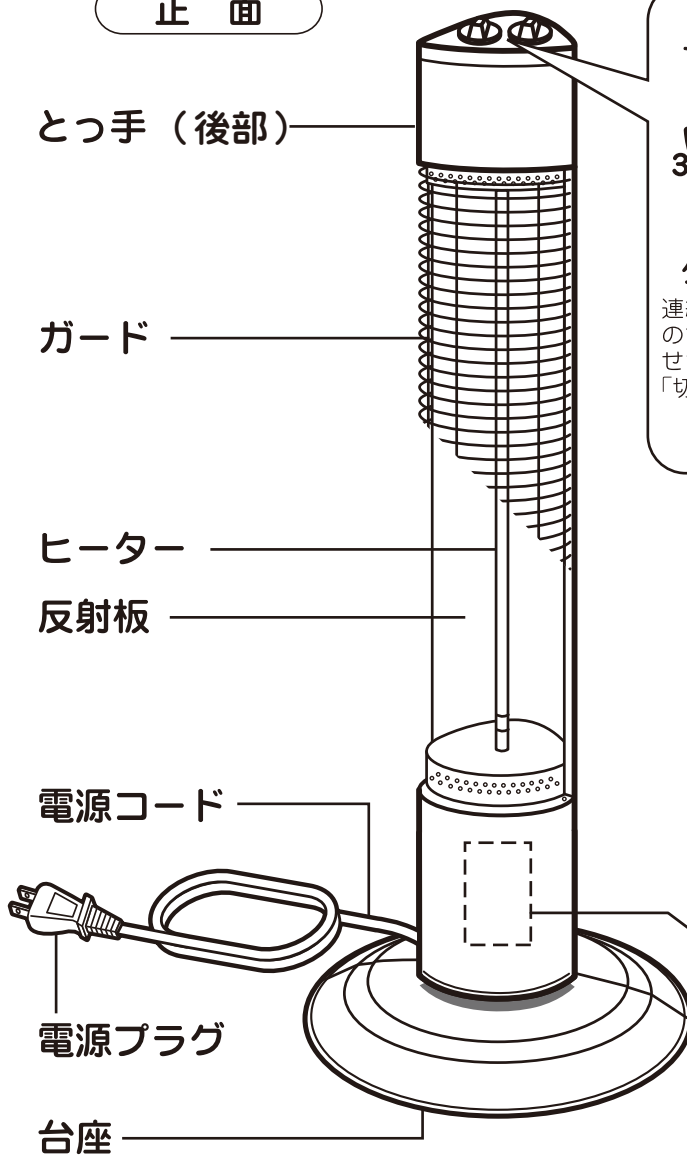
- 直接ヒーターに水がかかるとヒーターが破損することがあります。

必ずじょうぶで水平な所に置く

- やわらかいマットの上などは不安定で危険です。

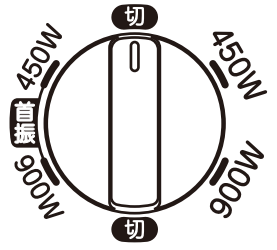
各部のなまえ

正面



タイマーツマミ

連続運転、切タイマーの設定をします。合わせた時間が経過すると「切」になります。



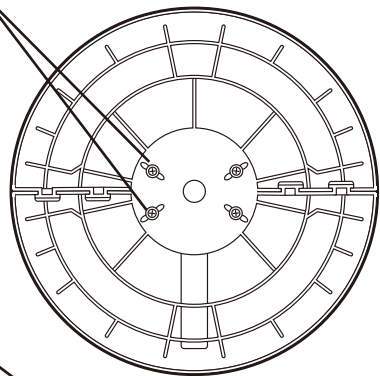
スイッチツマミ

切・ヒーターワット数と自動首振りの切り換えをします。タイマー運転のときも、お好みの運転に合わせてください。

※タイマーツマミが「切」のときはスイッチツマミを合わせても通電しません。

台座底面

蝶ねじ（本体に取り付けてあります。）



二重安全転倒スイッチ（内蔵）

- ・本体が傾いたり、転倒したときに通電を停止します。
- ・倒れた状態では通電しない二重構造となっています。

※ご使用中電源コードが多少温かくなりますが支障はありません。（使用中電源コードは束ねないでください。）

仕様

定 格	AC100V 900W 50/60Hz 共用
本 体 寸 法	幅300×奥行300×高さ825(mm)
質 量（重さ）	約 2.7 (kg)
電 源 コ ー ド	ゴムコード 長さ約1.8 (m)
ヒ ー タ ー	カーボンヒーター
安 全 装 置	二重安全転倒スイッチ

ご使用前の準備

ご使用前に必ず台座を本体に取り付けてください。

付属品

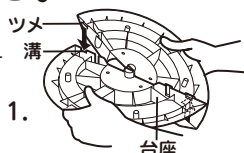
台座を取り付ける前にご確認ください。

- 台座（半円）……………2個
- 蝶ねじ……………4本（本体に取り付けてあります。）

台座を取り付ける

1. 台座を組み立てる。

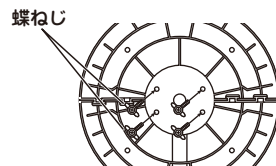
- 台座を裏返し、ツメを溝に合わせてはめ込みます。



3. 本体に台座を取り付ける。

- ①本体を平らな所に置きます。
- ②台座の凹部に電源コードが入るように合わせて、台座の突起部（4か所）を本体の穴部にはめ込みます。
- ③蝶ねじ4本を確実に締めます。

2. 本体に取り付けてある蝶ねじを外します。



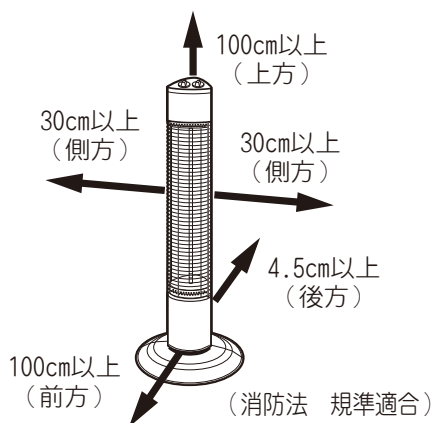
移動のしかた

- 必ず電源を切り電源プラグを抜き、本体が冷めてから移動してください。
- とっ手を持ち、本体を持ち上げて移動してください。



- ※電源プラグ、電源コードは引きずらず、必ず手に持ってください。
- ※床を傷つけないよう注意してください。

正しい使いかた



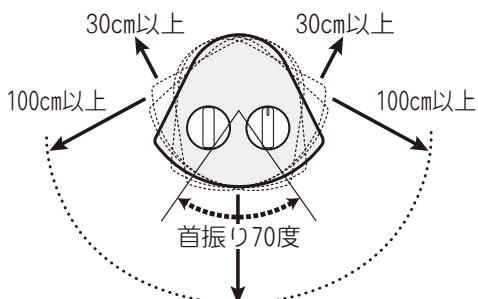
安全上必ず、次のようなところでお使いください。

- 燃えやすいものから
- 前方・上方……………100cm以上
- 側方……………30cm以上
- 後方……………4.5cm以上
- 離れたところ
- 上方から落下物のおそれのないところ

お知らせ

- 使い初めは十分に換気をする
初めてご使用になるときは、煙や塗料のニオイなどが出ることがあります。ご使用にともない出なくなりますが、煙やニオイが出た場合は十分に換気をしてご使用ください。
- 本体の上には、こしかけたり、足をのせたりしないでください。本体が倒れて危険です。
- 使用中にピチピチと音がすることがあります。これは熱で膨張・収縮するために起こるものです。
- 二重安全転倒スイッチの働きで、本体が倒れたり、傾いたりした場合には通電が止まります。
- 使用時、ラジオやステレオなどに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 首振り装置部は、スムーズに回転させるため、あそび（構造上のすきま）があり、若干ぐらつきますが、故障ではありません。

自動首振りをするとき（上から見た図）



1. 電源プラグを差し込む。

警告



電源プラグは必ず容量15A(1500W)以上の家庭用コンセント（交流100V）に接続してください。

2. スイッチつまみをお好みの位置に合わせる。

切	電源が「切」になります。
450W	450Wの通電をします。
900W	900Wの通電をします。
450W 首振	450Wの通電と自動首振りをします。
900W 首振	900Wの通電と自動首振りをします。

- スイッチつまみは中途半端な位置で止めないでください。

※自動首振りについては下記の「自動首振り装置の使いかた」を参照してください。

- 900Wと450Wではヒーターの明るさと暖かさが異なります。

3. タイマーツマミを回す。

連続運転のとき

- 「連続」の位置に合わせます。

切タイマー運転のとき

- 設定したい時間に合わせます。（最長約3時間）
設定した時間が経過すると、電源が「切」になります。
- タイマーの数字は目安としてお使いください。

手動首振りで本体の方向を変えるとき

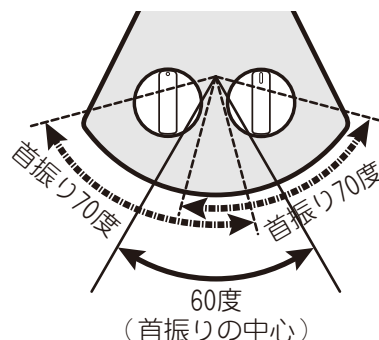
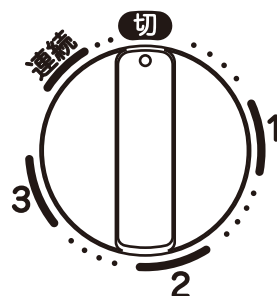
- ①スイッチつまみを「切」にします。
 - ②とっ手を持って軽く左右に振ります。
60度の範囲で変えることができます。
- 60度以上は振らないでください。

自動首振り装置の使いかた

スイッチつまみを「900W 首振」又は「450W 首振」の位置に合わせます。70度の範囲で自動首振りを行います。

- 自動首振り角度の中心位置は、手動首振りによって60度の範囲で変えることができます。
スイッチつまみを「切」にしてから変えてください。
- 自動首振り中は、本体を押さえて停止させたり、手動首振りをしないでください。

4. 使い終わったらスイッチつまみを「切」にし、電源プラグを抜く。



注意



使用中や使用後しばらくは、本体上部・前面・ガードなどの高温部に触れないでください。

お手入れのしかた

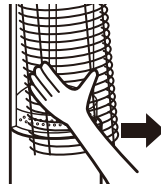
- お手入れはスイッチつまみを「切」にして、電源プラグをコンセントから必ず抜き、本体が冷めてから行ってください。
- スイッチ、ヒーター部などの電気部品には絶対に水をかけないでください。
- シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。
本体を傷めます。また変色、変形の原因となります。

1. ガードをはずす。

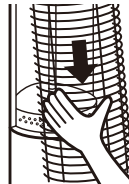
- ①ガードを上へ上げます。



- ②下部を手前に引きます。



- ③ガードを下げてはずします。

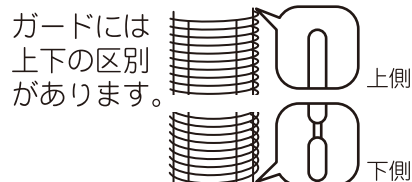


2. 汚れをふきとる。

- 台所用洗剤（中性）を薄めて、タオルなどを浸してしぼり、汚れをふき取ってください。ヒーター部はふかないでください。傷が付くと故障の原因になります。

※化学ぞうきんをご使用の場合は、化学ぞうきんの注意書に従ってください。

3. 乾燥させた後、ガードを取りつける。



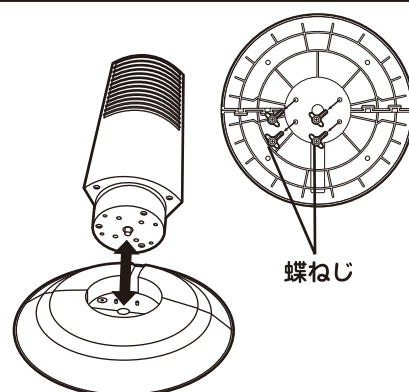
※ガードが使用中に外れないように確実に取りつけてください。

収納のしかた

もとの箱に収納する場合

1. 本体の汚れを取る。
2. 電源コードを束ねる。
3. 台座を本体からはずす。

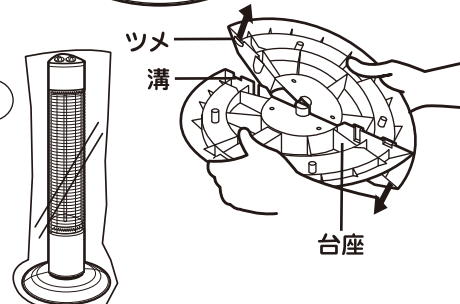
- ①本体を平らな所に置き、蝶ねじ4本をはずします。
 - ②台座を本体からはずします。
 - 紛失防止のため、蝶ねじ4本を本体に取り付けてください。
 - ③台座を2つに分けます。
 - ④本体をポリ袋に入れ、もとの箱に収納します。
- ※直射日光をさけ、湿気の少ない所に収納してください。



台座を取り付けたまま収納する場合

1. 本体の汚れを取る。
2. 電源コードを束ねる。
3. ポリ袋を本体にかぶせる。

※直射日光をさけ、湿気の少ない所に収納してください。



故障かな？と思われたときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。それでも異常のある場合は、お買い上げの販売店まで保証書を添えて、商品をご持参してください。誤った修理は、火災や感電などの危険な事故につながります。ご家庭での分解修理はなさないでください。

こんな場合	点検	なおしかた
暖かにならない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	●電源プラグを持ってコンセントにしっかり差し込んでください。
	●ブレーカーが切れていませんか。	●ブレーカーを点検してください。
	●タイマーツマミが「切」になっていませんか。	●タイマーツマミを連続運転、もしくは切タイマーの設定を行なってください。
電源プラグが異常に熱くなる	コンセントの刃受け部がゆるくなっていると、熱を持ちますので、コンセントをお調べください。	

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から2年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理いたします。

商品に保証書を添えて内部機構をさわらずにお買い上げの販売店にご持参ください。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

- お客様ご自身での製品の分解は危険ですので、なさないでください。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 電気ストーブの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 点検整備について

- 数年使用されますと、反射板が汚れ、性能が低下することがあります。

通常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおすすめします。

点検整備はお買い上げの販売店にご依頼ください。

5. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。
また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

＜利用目的＞

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

愛情点検

●長年ご使用の電気ストーブの点検を！



こんな症状はありませんか

- スイッチを入れても、時々通電しない時がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 通電中に異常な音や振動がする。
- 電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常・故障がある。

➡ご使用中止

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

西日本修理センター

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

部品に関するお問い合わせ

部品センター

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

受付時間：平日9:00～17:30
(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

2017年6月現在(所在地、電話番号などについては、変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

★7F